

## 神奈川県立鶴見高等学校

### 学校教育計画（平成28年度～平成31年度）

#### 1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に定めるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立し、様々な人々と協働し社会に貢献する人材育成をめざした学校づくりに取り組む。

また、生徒が自らの課題を発見し解決する力を育む授業を実践することにより、主体的に学習に取り組む態度を養い、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けて不断の授業改善を行う等、教育活動の充実に取り組む。

#### 2 学校教育目標

生徒の多様なチャレンジを引き出し、進路実現に向けた支援を通じて生徒の成長を積極的に促す。

生徒の多様なチャレンジを引き出し、校是「文武両道・自主自立」校訓「探求 真善美」を具現化し、社会的・職業的に自立し、様々な人々と協働し社会に貢献する人材を育成する。

○ 「確かな学力」の育成に向け、主体的に学習に取り組む態度および生徒が自らの課題を発見し解決する力を育む。

→ 「思考・判断・表現」「学ぶ意欲」「知識・技能」の適切な育成

○ 全ての教育活動を通じて、生徒のキャリア諸能力の形成および豊かな人間力の形成を図り、これからの時代に求められる資質・能力を育成する。

○ 個々の生徒が将来の生き方・働き方、将来の社会参画の在り方について考え、その具現化のための進路実現を図る。

→ 「見いだす力」と「勝ち取る力」の育成

教職員ひとり一人がチャレンジとコンプライアンスを旨とし、業務改善および事故・不祥事ゼロを実現するために、明るく風通しのよい職場環境を醸成し、地域・保護者・生徒に信頼される学校を目指す。

#### 3 計画作成時点での課題

○ 学習に対する主体的な目的意識が希薄であり、日常の自宅学習時間が少ない現状がある。

また、授業・定期テスト・学力テスト・模擬試験に対する意義や目標を不明確である。

○ 丁寧な生徒理解のもとに、より質の高い基本的な生活習慣の確立や学習環境の整備、マナーや規範意識の向上のために、教職員の共通理解を持った指導・支援体制の確立が必要である。

○ 自己の課題意識が不明確で、大学進学後の自分の姿や将来の自己の在り方やビジョンを持たせることが必要である。

○ 「個々の生徒の目標とする進路実現」を測る指標の確立が未整備である。

○ 生徒と向き合う時間の確保のために学校運営業務の整理精選および効率化が必要であるとともに、事故・不祥事防止の不断の取組が必要である。

#### 4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校として育成する資質・能力を明確化し、生徒のニーズを踏まえ、平成30年度より新たな教育課程で教育活動を行うとともに、生徒が自らの課題を発見し解決する力を育む授業実践を進め、課題発見・設定・解決する能力を育成する。</li> <li>学校行事や生徒会活動を通じて、集団としての成長を促す取組の構築・充実を図るとともに、生徒のキャリア諸能力の形成および豊かな人間力の形成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程研究開発校（新たな学習評価に係る研究）としての取組を積極的に進めることを通じて、主体的に学習する態度および課題発見・設定・解決する能力を育成する。</li> <li>生徒主体の学校行事や生徒会活動をさらに充実させるとともに、教科学習および特別教育活動を有機的な関連を強化する。</li> </ul>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導・生徒支援を一体的に捉え、丁寧な生徒理解のもとに、より質の高い基本的な生活習慣の確立や学習環境の整備、マナーや規範意識の向上のために、教職員の共通理解を持った指導・支援体制を確立する。</li> <li>生徒の自主的な活動の場としての部活動に対する支援の充実を図るとともに、個別生徒の課題解決に向けた支援体制の一層の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重点的に取り組む具体的な課題を明確にし、その解決に向けた教職員の共通理解を持った指導・支援体制を確立する。</li> <li>生徒の部活動への参加意識を高める取組を進め、あわせて生徒の活動を支援する体制を整える。</li> <li>個々の生徒の抱える課題解決に向けた支援体制をより充実させる。</li> </ul>
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒のキャリア諸能力の形成および豊かな人間力の形成を図り、社会に貢献する人材を育成する。</li> <li>個々の生徒が将来の生き方・働き方、将来の社会参画の在り方について考え、その具現化のための「個々の生徒の目標とする進路実現」を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の生徒が自らの目標設定が明確にできるよう、総合的な学習の時間「探求Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」等のこれまでの取組について検証し、充実発展を図る。</li> <li>「個々の生徒の目標とする進路実現」を図るために、国の動向を把握し、高大接続改革等の動きに適応した取組（教育課程改善、授業改善等）を総合的に進める。</li> </ul>
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域・同窓会・保護者との協働・連携を通じて多様な教育活動を展開するとともに、適切な情報発信を図り中学生・地域のニーズに応える開かれた信頼される学校づくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域・同窓会・保護者等、本校を取り巻く教育的資源を積極的に活用するとともに、地域社会に貢献する活動の充実を図る。</li> <li>ホームページ等適切な情報発信を通じて、地域・中学生・保護者に対する本校教育活動の広報活動を進める。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校教育に求められる教育活動を生徒の状況に応じて推進し、教職員ひとり一人がチャレンジとコンプライアンスを旨とし、業務改善および事故・不祥事ゼロを実現するために、明るく風通しのよい職場環境を醸成し、地域・保護者・生徒に信頼される学校を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国・県教育委員会等の動向を積極的に把握し、本校生徒の成長につながる取り組みを積極的に推進する。</li> <li>生徒と向き合う時間を確保するため、積極的に業務改善に取り組み、円滑な情報共有に努める。</li> <li>事故・不祥事ゼロに向けた取り組みを推進する。</li> </ul>